

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要				
事業開始年度 平成17年度～				
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	13	港湾・漁港
事務事業名		03	鴻島港整備事業	
			根拠法令・例規等	港湾法
			問担当課(室)	都市整備課
			職・氏名	土木係長・梶藤 勲
			電 話	0869-64-1835

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	鴻島港を利用する船舶・住民。
目 的 (何のために)	安全で安心して鴻島港が利用出来るようにするため。
行政活動 (どのような方法で)	鴻島港の浮桟橋を可動式に改良する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	台風時の高波の影響を受けにくい構造とすることで、浮桟橋が被災し使用出来なくなることをなくす。

事業の実績					
活 動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	委託業務件数	件	1	0	0
	工事件数	件	0	1	1
実 績	事業費	千円	10,000	9,420	20,580
	必要人員	人	0.30人	0.34人	0.15人
	事業費	千円	11,380	11,384	21,477
	受 益 者 負 担 金	千円	6000	5652	12348
	総 入 金	千円	0	0	0
	市 債	千円	4000	3700	3300
	その他()	千円	0	0	0
一 般 財 源	千円	1,380	2,032	5,829	
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標					
結果指標①	委託業務1件当りの活動コスト	説明	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	結果指標量	件	1	-	-
	対前年対比	%	-	-	-
	活動コスト	円	11,380,000	-	-
結果指標②	工事1件当りの活動コスト	説明	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	結果指標量	件	-	1	1
	対前年対比	%	-	-	100.0%
	活動コスト	円	-	9,246,000	20,580,000
単位当たりコスト	円	-	9,246,000	20,580,000	

事業の成果					
浮桟橋が利用出来ない回数	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
		目標値(A)	0	0	0
		実績値(B)	0	0	0
	達成率(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%
成果指標設定の考え方・式や説明					
浮桟橋が利用出来ない回数 (平成19年度からの累計)					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	結果指標量②	成果指標量	状況	状況	状況
				拡充	現状継続	見直し
					○	
説明	平成19年度に工事の着手を行い、平成20年度で工事を完了している。今後は、地元住民への連絡体制を確立し、荒天時には早期に対応できるようにする。					

総合評価	
台風時の高波により度々落橋していた浮桟橋が、事業を行ったことにより改善され、利用者の安心・安全が図れた。今後は、地元住民への連絡体制を確立し、荒天時には早期に対応を行い浮桟橋が安全・安心して利用できるようにする必要がある。	評価区分 <A~E> A

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		